

The Moonshot Goal engaged by AMED

ムーンショット目標 7 キックオフシンポジウム

健康不安なく 100歳まで

● ● ●
C O N C E P T

「ムーンショット型研究開発事業」は、我が国発の破壊的イノベーションの創出を目指し、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発（ムーンショット）を推進する新たな事業です。

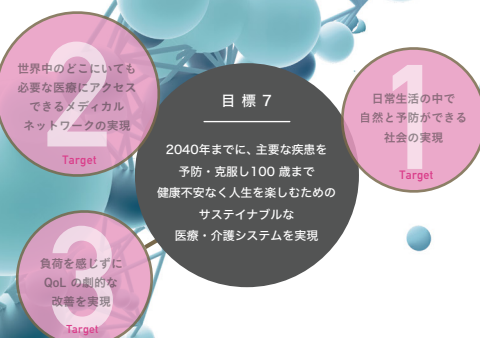
AMEDでは、目標7「2040年までに、主要な疾患を予防・克服し100歳まで健康不安なく人生を楽しむための持続可能な医療・介護システムを実現」

というムーンショット目標の達成に向けて、研究開発を進めます。

この度、本プログラムの5つの研究開発プロジェクトの開始にあたり、キックオフシンポジウムを開催致します。

本プログラムの目指す社会や、各プロジェクトの研究開発の狙いや内容を、わかりやすくご紹介いたします。

パネルディスカッションでは、アドバイザーの先生方から各プロジェクトへのご質問を頂いて、参加者の皆様の理解をより深めて頂きたいと考えております。



令和3年6月26日 土曜日 13:30～17:00

Zoomウェビナーにて配信



平野 俊夫
ムーンショットPD

Host

国立研究開発法人
日本医療研究開発機構 (AMED)

Supported by

(後援) 内閣府、文部科学省、
厚生労働省、経済産業省 (予定)

Registration

<https://moonshot7.jp/>

健康長寿社会実現のためには、従来のように単に病気を治療するだけでなく、QoL(その人がこれだいいと思えるような生活の質)を維持した医療が重要です。

医療には治療、予防、リハビリ等があり医療を受けた後の日常生活もあります。これらの医療提供そのもの、また、医療後の生活すべてにおいてQoLが大事な視点だと考えております。

健康長寿社会において主要な疾患である、がん、脳疾患、心臓血管疾患などは、遺伝的要因と食事、運動、休養等の乳幼児からの生活習慣や加齢(ライフコース)に根ざした生活習慣病であると考えられます。

これら疾患の最も根本的なキーワードは慢性炎症(炎症反応が軽度ではあるが、長時間持続し慢性化した状態。じわじわとくすぶるような炎症状態)が続くと、生体組織の機能や構造に異常が生じ、さまざまな疾患の原因となる)だと考えています。

この慢性炎症の観点を軸として、研究開発プロジェクトを進めていきます。



阿部 高明
東北大学教授



栗田 昌和
東京大学助教



中西 真
東京大学教授



村上 正晃
北海道大学教授



柳沢 正史
筑波大学教授